

ニッケは品質・トレーサビリティ向上を狙いとして
国内でのトップメイキング体制を構築します

この度ニッケは、製品価値を最大限高め、国内毛織物産業の海外市場での競争力を強化することを目的として、岐阜工場（岐阜県各務原市鶴沼各務原町）にトップメイキング工程を設置することを決定しました。

＜背景＞

現在、日本の毛織物産業は、紡績に必要な原料（羊毛トップ）を海外から調達していますが、近年、海外市場で競争して行くためには、トレーサビリティ、人権、環境への配慮が絶対条件となりつつあり、EUを中心に義務化が進むDPP（デジタルプロダクトパスポート）に対応し、更なる高品質化を実現するためにはサプライチェーンの抜本的な見直しが必要となっています。

＜国内生産体制構築の狙い＞

■高品質な日本製ウール製品の供給による海外での競争力強化

国内で一貫生産することにより、羊毛トップを海外から輸送する際の含水量変化等の原料劣化リスクがありません。ニッケが保持しているトップメイキングの技術を駆使した良質な羊毛トップを用い、最高品質の日本製ウールを提供することで、欧州を始めとする海外市場での競争力がおおいに高まるものと考えています。

■トレーサビリティの強化

調達にあたっては、当社が指定したタイプ別に原料買付を行い、どの牧場からの羊毛かを把握し、当社の品質基準を満足するオーストラリア及びニュージーランドの工場で洗毛するため、生産者の顔が見える万全のトレーサビリティを確保できます。

■環境負荷の低減

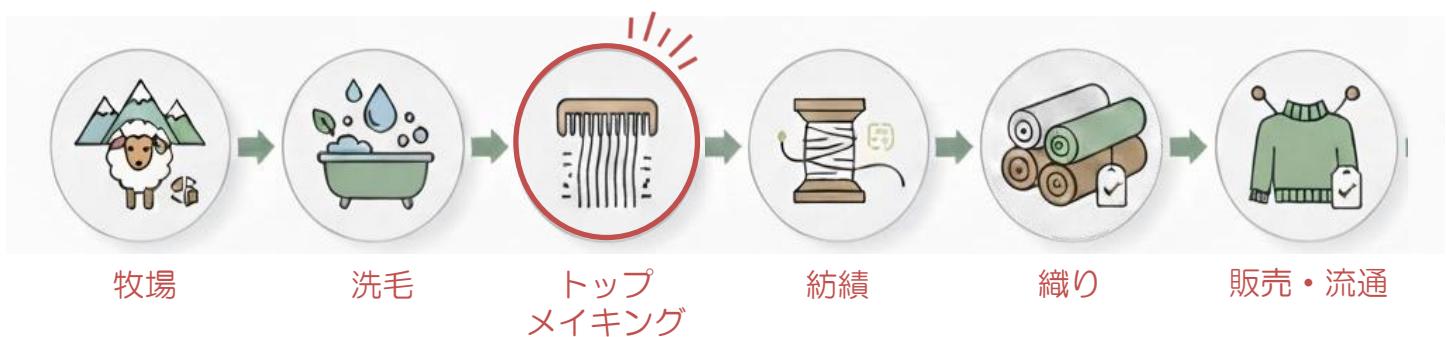
新設するトップメイキング工程では最新の機械設備を導入することにより、過去の国内生産時と比較してCO₂排出量を約20%削減します。

<投資概要>

- 稼働予定：2027年3月
- 所在地：岐阜県各務原市鵜沼各務原町（ニッケ岐阜工場内）
- 投資額：約26億円

<トップメイキング工程とは>

トップメイキング工程は、毛織物産業において重要な前工程であり、高品質な羊毛原料「羊毛トップ」を生成するプロセスです。この工程では、羊毛をカードという機械で開纖し、コーマという機械で梳（す）き、纖維を適切に整えることで、均一でムラのない羊毛トップを作り上げます。この羊毛トップは糸づくりの基材となり、毛織物の品質を大きく左右する重要な要素です。



ニッケグループは、2026年1月15日に公表した、次期ニッケグループ中長期ビジョン「CF140ビジョン」において、『卓越した技術とあくなき革新で「高機能商品」「高品質サービス」を提供する「みらい生活創造企業」を目指す』ことを掲げました。

今回の国内でのトップメイキング工程の復活は、グローバルな政治・経済・社会が目まぐるしく変化する中で、持続的な成長を続け「みらい生活創造企業」を実現する上で重要な一歩となります。

また、ニッケが生産する良質な羊毛トップが、自社製品での使用に留まらず、国内企業への提供を通じて国産ウールの品質の底上げとブランド力強化に貢献することを願っております。

『本件に関する問い合わせ先』

ニッケ 衣料纖維事業本部

執行役員 製造統括部長 岡田 啓

TEL：06-6205-6660